

## 院内調査を検証する (調査はどのように実施されたか)

### 平成15年 母子連続死亡事故

平成21年3月1日  
医療の良心を守る市民の会  
小室 義幸

1

## 目次

### ■事故と調査

- (1) どのような施設で起きた事故か
- (2) 事故の経緯
- (3) 院内調査(調査報告書、病理解剖)
- (4) 統制・指揮・監督なき組織
- (5) まとめ(問題点)

### ■医療安全調査委員会について

2

## どのような施設で起きた事故か

- 病床1,000以上、2,000人/日以上外来患者。
- 特定機能病院、総合周産期母子医療センター、高度救急救命センター。
- 医療安全管理室には、医療事故や医療安全システムを研究テーマとしている教授も在籍。
- 平成15年12月(事故の起きた年)に日本医療機能評価機構の審査を受け合格。
- 我が国有数の大学病院

3

## 事故の経緯

平成15年9月21日 管理入院(出産予定日11月1日)  
11月07日 13:00 発熱を確認  
08日 09:00 陣痛促進剤の投与開始  
11:26 女児出産  
12:19 女児死亡  
14:00 母親死亡  
同夜間 病理解剖  
11月09日 司法解剖  
平成17年10月26日 東京地裁に提訴  
11月30日 主治医を書類送検(不起訴)  
平成20年06月 民事裁判和解

4

## 院内調査

### 産科専門医不在の調査、重要事項を調査せず

- 病理解剖の所見に全く触れず。
- 陣痛促進剤オキシトシン(アトニン)使用の適否について言及なし。
- 胎児心拍陣痛図や胎児の健康状態に言及なし。
- 死亡前日の医療なき空白の6時間に言及なし。
- 書面による遺族の質問には「調査委員会には産科の専門医がいないので専門的評価はできません」と回答。

5

## 院内調査 続き

### 報告書に虚偽の記載

- 死後の検査データを生前の検査データと偽り、診療の正当性を主張。
- クリステレル回数の虚偽記載  
調査報告書では、2回だけ実施と記載、遺族が質すと6回の実施を認める。
- 「娩出までは1時間程度を要するので帝王切開を見送った」東京都の「地域周産期母子医療センター」は30分以内の娩出が基準。当該病院はよりレベルの高いとされる「総合周産期母子医療センター」である。

6

## 院内調査 続き

### ずさんな病理解剖

- 病院側が「死因が不明」と病理解剖を提案。遺族は第三者による解剖を求めたが、最終的には承諾。
- 病理専門医資格を持たぬ執刀医。同病理学教室の医師17名中、序列10番、17番目の高医師が担当。
- 「羊水塞栓症の確定診断には肺の病理検査が必要」と説明され、承諾書に署名。しかし、**同病理検査を実施せず。**
- 解剖部位に関する説明なし。
- 遺族の承諾を得ずに脳の解剖(開頭)を実施。

## 統制・指揮・監督なき組織

### 調査の実行責任者が明らかでない

- 窓口の院長からは、院内調査委員会による調査報告書、産科臨床チームによる説明資料、病理解剖資料等が総合的に吟味・議論されることもなく遺族に個別に郵送。
- 医療安全管理室が有りながら、関与した形跡はない。
- 主治医にさえも調査報告書を渡していない(説明会当日、遺族からコピーを渡されてその内容を知る)
- 1カ月前に、出席を文書で約束しながら、娘の担当看護師が説明会に欠席(理由は退職)

## 苦渋の決断

- ① 医療は期待に沿えない結果もあることは認識。
- ② 強い不信感は調査報告書から始まった。
- ③ 不信は説明会でも払拭されず、増幅された。
- ④ 調査が不十分で、透明性がなく、真相が見えてこない。

このような時に、遺族は提訴せざるを得ない立場に立たされる→提訴へ

## まとめ(問題点)

- 今回の事故を通して見た限り、**大学病院としての『かたち』が出来てない。医局間の垣根も高く、この状況が続く限り、事故の再発防止や医療の質の向上はむずかしい。**
- 病院幹部を含め関係者の**教育が不十分である。医育機関でもある大学病院としては深刻な問題である。規模が大きいただけでは安心はできない、時にはそれが弊害ともなる。**

## 医療安全調査委員会について

- (1) 医学的死因の調査に終わってはならない。**事故の背後にある要因を掘り起こし、明らかにしない限り、事故の再発防止も、医療の質の向上も困難である。**
- (2) メンバーに、医療関係者以外を加えることは中立性確保の原点である。**閉鎖的な医療界のドアを社会に開く良い機会でもある。**
- (3) **透明・中立性が命である。これが担保されなければ、調査委員会創設の意義は認め難い。**

以上

体験した詳しい内容は下記に記載

[Http://www.cc.em-net.ne.jp/~komudes/08yk-00.htm](http://www.cc.em-net.ne.jp/~komudes/08yk-00.htm)